

8年間、アパレル店で接客 Sさん・燦燦(岐阜市)



「次の8年は介護を極める」

高校を卒業してから昨年のお客さまに慕っていた。8月に燦燦に就職するまで、やりがいを持って働いたのですが「店長も任レル店で働いていて、最後、何を目標にしたらいのだから」とかあり、その頃から介護の1年間は店長をしていまい。何を目標にしたらいのだから、職に憧れを抱いていました。大好きでしたし、たくさん他にしたい仕事はと考えた。高校は服飾デザイン科

と福祉科で迷ったほど。結れたときはとてもうれし局、服飾デザイン科に進んで、心強く感じましたね。だともあり、アパレル店介護職員初任者研修は今員になるという夢を先にか月、修了できました。なえました。です。で周囲からは「介護職をするタイプではない」などと言われますが、自分の中では自然な流れだと感じています。そして母の知り合いに幸紀会で働いている方がいた縁で燦燦へ見学に行き、安江紀子理事長に「8年間も続けてきたことがあるならここでも頑張れますよ」と声を掛けていただけました。に勇気をもらい、転職を決めました。最初の頃は特に、わからないことばかりで戸惑いもありましたが、優しい先輩に恵まれて頑張っていました。先輩が以前、介護用語をメモ帳に書いて渡してく

いきたいと思います。同じ位の時間を過ごせば見えてくるものもあるのではと、8年間続けることを目標に、日々の業務を頑張っています。私の自慢です。介護でも、アパレルと